

2020 パラグライディング日本選手権 in ASHIO 競技規定

1.競技ルールは JHF ジャパンリーグ競技規定に準ずる。

2.ローカルルール

①テイクオフ

OnasaPG テイクオフ(東及び南)、nasaHG テイクオフ(東及び西)、nasaTOP のいずれかを使用する。どのテイクオフを使用するかは、当日の気象条件に応じて競技委員長が決定する。

○テイクオフの順番はランチオーダーとする。

- ランチオーダー決定方法

- 初日：まず、前年のPJL ランキング（オープンクラス）1～30位までの選手を、その順位順に上位とする。31位以下、または順位のない選手は、くじ引きとする。

- 2日目以降は、前日までの順位とする。

②リフライト

指定ランディング場からのみリフライト送迎車を準備する。

リフライトに関する詳細はブリーフィング時に発表する。

③旋回方向

- エリアルルールに従い、奇数日は左、偶数日は右のセンタリングとする。

④飛行禁止空域

フライトログが飛行禁止空域内、または飛行制限空域内に進入していた場合、そのフライトは失格とする。

筑波フライトエリアエアスペースルールを理解し、遵守すること。

○丸山風力発電所（足尾山頂の約2km北）については、風車から水平方向に200m以内、海拔高度800m以下を飛行禁止とする。

(N36° 17' 30.99" E140° 09' 02.58" 560m)

(N36° 17' 36.65" E140° 09' 01.44" 536m)

○筑波山周辺

- 筑波山ロープウェイつつじヶ丘駅～女体山駅間、半径200m及び上空200m以下
- 筑波山ケーブルカー宮脇駅～筑波山頂駅間、半径200m以内及び上空200m以下
- 筑波山神社上空200m以下

○福島第一原子力発電所から半径30km以内

(N37° 25' 07.66" E141° 01' 19.76")

○その他

- 筑波フライトエリアエアスペースルールに準ずる

○ CTR の設定

大会ホームページより CTR をダウンロードし、CTR アラームの設定をすること。

⑤ランディング場

- ・メインランディング場は足尾 PG-LD(東または西、飛行方向により決定) とする。
- ・足尾 HG-LD、クラブハウス横 LD、モーターパラ LD に降りてもよい。

※足尾 HG、板敷、COO、ソラトピア、GAIN 等にランディングする場合は、そのエリアのアプローチ方法を熟知しておくこと。

※筑波山ロープウェイつつじヶ丘駅駐車場及び筑波山周辺のランディング禁止区域内にランディングした場合は大会失格とする。

- ・メインランディング場以外に降りた場合は自己責任において速やかに対処するとともに、本部に報告すること。また主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償等の請求を決しておこなわないこと。

⑥ その他

- ・ツリーランは自己の責任において回収すること。
- ・22 時以降は静かにすること。騒音に対する苦情を受けた場合は本人、またはそのグループで謝罪し結果を大会役員に報告すること。

3. 事故及び損害賠償

大会期間中に事故が発生し、選手自身あるいは他者に傷害や損害が生じた場合、大会規定及びエリアルルールに則り、本人の責任において速やかに処置するとともに、本部に報告すること。また主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償等の請求を決しておこなわないこと。

4. 抗議

抗議申し立ては成績の仮発表から 1 時間以内に、供託金 1 万円を添えて文書で大会本部に提出すること。